

平成30年度

サポートルーム

教室案内



サポートルーム

大田区立入新井第二小学校（拠点校）
大田区立開桜小学校
大田区立池上小学校
大田区立入新井第四小学校

大田区立入新井第二小学校（拠点校）

〒143-0024

大田区中央2-15-1

電話 03(3773)3978

FAX 03(3773)3970

I 教室概要

(平成30年 4月 1日現在)

	拠点校		巡回校		巡回校		巡回校																				
学校	大田区立 入新井第二小学校		大田区立 開桜小学校		大田区立 池上小学校		大田区立 入新井第四小学校																				
所在地	〒143-0024 東京都大田区中央 2-15-1 Tel 03-3773-3978 Fax 03-3773-3970		〒143-0015 東京都大田区大森西 2-26-3 Tel 03-3762-6538 Fax 03-3762-6539		〒146-0082 東京都大田区池上 1-33-8 Tel 03-3753-9381 Fax 03-3753-9382		〒143-0024 東京都大田区中央 3-5-8 Tel 03-3773-3981 Fax 03-3773-3982																				
教室開設	平成28年 5月 9日																										
校長	古庄 輝男		伊藤 均		菅原 進		鈴木 浩之																				
副校長	笹間 伸也		山本 秀一		尾上 健二		鶴田 裕子																				
担当	芳賀 玲子、八幡 亮、池上 杏奈、畑田 麻由、奥野 佑貴、小松 和佳奈、大野 真紀子、藤井 花織																										
専門員	大泉 あゆみ		山口 京子		中川原 裕子		永沢 美也子																				
室名	サポートルーム（特別支援教室）																										
教室形態	個別指導及び小集団指導																										
児童数	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	4	5	6	計						
	0	2	2	5	11	4	24	0	7	9	9	9	6	40	0	2	1	2	1	0	6	0	1	4	1	3	2

II 対象児童

通常の学級の中で困難な状況がある児童を対象とする。

⇒ 例として

- ・ 友達に関心はあるが上手に関われない、友達の気持ちを理解して行動することが難しいなど、友人関係が円滑に行えない。
- ・ 行動の順番や一定の生活パターンにこだわる。
- ・ 興味・関心のこだわりが強い。
- ・ 授業中に立ち歩くなど、落ち着かない様子が見られる。
- ・ まわりのちょっとしたことに気を取られ、感情が不安定になる。
- ・ 周囲の状況が分からずに、行動する。
- ・ 言葉で表現するのが、苦手である。
- ・ 細かな手先の作業や全身運動が、苦手である。
- ・ 身の回りの整理整頓が、できない。
- ・ 特定の教科や一部の学習だけでのつまずきが、目立つ。
- ・ 不安感が強く、登校をしぶりがちである。

Ⅲ 利用に関する流れ

サポートルームの利用については、以下の手順で行われます。

- ① 保護者が、学校に相談します。
- ② 学校は、校内委員会で多面的に話し合い、サポートルーム利用の必要性を検討します。
- ③ サポートルーム利用及び心理検査を、学校を通して申し込みます。
- ④ 申し込み後、保護者が大田区教育センター就学相談（03-5748-1202）に電話をし、面談と心理検査の予約をします。
- ⑤ 教育センターで面談・心理検査を受け、サポートルームの体験をします。
- ⑥ 学校は、指導の目標や方針を確認します。
- ⑦ サポートルームの利用の可・否について、大田区の就学支援委員会で決定します。
- ⑧ 就学支援委員会の結果については、学校を通してお知らせします。

利用終了について

一定の時期に、サポートルーム利用の終了について相談します。

- ・指導の効果が上がり、在籍の学級で適切な支援を受けながら学習・生活できると判断されたときに終了となります。
- ・指導の方法等を改善・工夫したが、ほとんど改善の見通しが立たないときに、終了となります。

（今後の、より適切な支援に向けて、相談をしていきます。）

VI 学習指導内容

おおよそ次のような内容を用意しているが、どの項目を行うのか、どのような順番で行うのか、どの項目を重点にするのかについては、個々の児童の状況に合わせて行う。

- (1) 情緒の安定に関すること
情緒の安定や不安感の解消等。
- (2) 学習態勢作りに関すること
学習意欲を高める、安定して一定の時間学習に取り組む、私語を減らす等。
- (3) 生活習慣の定着に関すること
学校における基本的な生活習慣を身に付ける、役割分担を理解し行動する等。
- (4) 対人関係の改善に関すること
相手の気持ちを理解する、自分の気持ちを上手に伝える等。
- (5) 社会性の獲得に関すること
ルールを理解し守る、協力する、恥ずかしさが分かるようにする等。
- (6) コミュニケーション能力の伸長に関すること
人の話を聞き理解する、その話に応じた答えをする、相手に分かるように伝える等。
- (7) ことばの理解と使用に関すること
曖昧な言葉を理解する、話の流れの中で言葉を理解する等。
- (8) こだわりの軽減に関すること
興味・関心を広げる、気持ちの切り替えを早くする等。
- (9) 行動のコントロールに関すること
自分の感情を意識し、高まりを抑制したり、対処法を身に付けたりする等。
- (10) 自己認識の育成に関すること
よい点を意識させ、自信や自尊感情を付けていく等。
- (11) 教科の補充に関すること
個人の必要に応じた学習。
- (12) 感覚・運動能力の向上に関すること
粗大運動や微細運動と、その動作模倣。
- (13) 認知特性に応じた学びに関すること
得意な情報処理様式に合わせた学習の仕方等。
- (14) 環境の調整に関すること
安定して行動できる場を広げる。
- (15) 汎化に関すること
サポートルームで学習したことが、応用できるようにしていく等。